

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 岩手県大船渡市
本事業の担当部局名 保健福祉部こども家庭センター

事業メニュー	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム							
区分	都道府県主導型市町村連携コース							
関連事業メニュー	4.2 結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラム(都道府県主導型市町村連携コース)							
個別事業名	結婚新生活応援事業			新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続			
実施期間	交付決定日	～	令和9年3月31日	事業開始年度	令和7年度			
総事業費(A)(円)	4,500,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0	差引額(A-B)(円)	4,500,000			
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	4,500,000							
費用内訳(円)	個別事業の内容のとおり							
自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け	<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 当市の少子化の要因の一つは、若者の社会減と捉えており、若者相互の交流促進や活躍機会を提供する取組を支援していく。 結婚支援については、岩手県の“いきいき岩手”結婚サポートセンターへの入会登録を支援することで、結婚を希望する市民への出会いの場提供に努める。 また、結婚新生活支援事業を実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行う。							
	<本個別事業の位置付け> 結婚新生活応援事業を実施し、経済的不安から結婚に踏み切れない層に対して補助を行うもの。							
個別事業の内容	1. 概要							
	【対象費用】							
	☐	住宅取得費用	☐	住宅リフォーム費用	☐	住宅賃借費用	☐	引越費用
	【補助対象要件】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	所得要件	国基準	夫婦の合計所得が500万円未満					
		自治体独自基準						
	年齢要件	国基準	夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下の世帯					
		自治体独自基準						
	【補助上限額】 原則として国基準とし、自治体独自基準による場合は当該欄に記載							
	29歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が60万円					
自治体独自基準								
39歳以下 の場合	国基準	各費用に係る合計が30万円						
	自治体独自基準							
【その他独自要件】								

2. 申請見込

①新規世帯見込	10	世帯	②継続補助世帯見込	0	世帯
上記のうち	ともに29歳以下	5	(継続補助規定の有無)	有	
	その他	5			

【世帯数積算根拠】

申請見込については、令和6年度の実績(7件)を基に、周知を強化することから10件の見込みとしている。

(参考)

【令和7年度申請状況】		実施中	
申請世帯数見込	4	世帯	
	～12月(実績)	0	世帯
	1月～3月(見込)	4	世帯

【金額積算根拠】

<上限額>				<左記の上限額の合計を使用しない場合の積算>			
(29歳以下)	5	世帯	×	600,000	円	=	3,000,000 円
(その他)	5	世帯	×	300,000	円	=	1,500,000 円
				(継続補助)			0 円
				合計			4,500,000 円

3. 広報の実施予定

市広報、ホームページ、SNSでの周知やチラシの配布等を行う。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率			1.4 (R9年度)	1.15 (R5年度)
	婚姻率			3.5 (R9年度)	3.0 (R4年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.15 (R4年度)	
	婚姻件数		件	73 (R6年度)	
	婚姻率			2.8 (R6年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	支給世帯実績／支給見込世帯数の割合	%	100 (R8年度)	36 (R7年度見込み)
	(アウトカム)				
	①	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「本事業の認知度」	%	80 (R8年度)	50 (R7年度見込)
	②	結婚・妊娠・子育ての相談機会提供・支援プログラムに関するアンケートにおける「地域に応援されていると感じた世帯の割合」	%	80 (R8年度)	50 (R7年度見込み)